

## 平成 24 年 11 月治験審査委員会議事要旨

日時：平成 24 年 11 月 19 日（月）17:20～18:00

場所：独立行政法人国立病院機構 旭川医療センター 大研修室

出席者：藤兼俊明副院長、西村英夫統括診療部長、永瀬厚診療部長、藤内智臨床研究部長、吉田一彦事務部長、及川節子看護部長、橋本一彦外部委員、遠藤雅之薬剤科長

委員長：藤兼俊明副院長

治験管理室：堀、前川

### 議題 1「COPD患者を対象としたKRP-AB1102の第Ⅲ相試験」

依頼者 杏林製薬株式会社

#### 【審議事項】

・安全性情報等に関する報告書（2012 年 10 月 31 日）に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。

審議結果：承認（藤兼副院長、藤内智臨床研究部長、長谷田貢企画課長、小島治士外部委員を除く全員）

### 議題 2「COPD患者を対象としたKRP-AB1102F第Ⅱ相臨床試験」

依頼者 杏林製薬株式会社

#### 【審議事項】

・安全性情報等に関する報告書（2012 年 10 月 31 日）に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。

審議結果：承認（藤兼副院長、藤内智臨床研究部長、長谷田貢企画課長、小島治士外部委員を除く全員）

### 議題 3「KRP-AB1102第Ⅱ相臨床試験—COPD患者を対象としたKRP-AB1102の4週反復投与試験—」

依頼者 杏林製薬株式会社

#### 【審議事項】

・安全性情報等に関する報告書（2012 年 10 月 31 日）に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。

審議結果：承認（藤兼副院長、藤内智臨床研究部長、長谷田貢企画課長、小島治士外部委員を除く全員）

### 議題 4「循環器疾患の既往又は高リスクを有する中等度の慢性閉塞性肺疾患（COPD）患者を対象としたフルチカゾンフランカルボン酸エステル/GW642444 吸入用散剤 100 mcg/25 mcg 投与時の生存率に対する有効性をプラセボと比較する臨床アウトカム試験」

依頼者 パレクセル・インターナショナル株式会社

#### 【審議事項】

・重篤な有害事象に関する報告書（第 1 報 2012 年 10 月 12 日）に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した

・安全性情報等に関する報告書（2012 年 10 月 12 日）に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。

・治験に関する変更申請書（2012 年 10 月 25 日）治験薬概要書の変更について審議した。

審議結果：承認（藤兼副院長、藤内智臨床研究部長、長谷田貢企画課長、小島治士外部委員を除く全員）

### 議題 5「COPD 患者を対象に、Ba679+BI1744 配合吸入剤を吸入投与した際の有効性と安全性を各単剤と比較する、ランダム化、二重盲検、並行群間比較試験」

依頼者 日本ベーリンガーインゲルハイム株式会社

#### 【審議事項】

・安全性情報等に関する報告書（2012 年 10 月 12 日）（2012 年 10 月 24 日）×2（2012 年 10 月 30 日）に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。

審議結果：承認（藤兼副院長、藤内智臨床研究部長、長谷田貢企画課長、小島治士外部委員を除く全員）

**議題6「中等症および重症持続型喘息患者を対象に、Ba679BRを吸入投与した際の安全性と有効性を評価する第Ⅲ相ランダム化、二重盲検、プラセボ対照、並行群間比較試験」**

依頼者 日本ベーリンガーインゲルハイム株式会社

**【審議事項】**

・重篤な有害事象に関する報告書（第2報 2012年10月3日）に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。

・安全性情報等に関する報告書（2012年10月23日）に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。

・治験に関する変更申請書（2012年10月10日）治験薬概要書の変更について審議した。

審議結果：承認（藤兼副院長、藤内智臨床研究部長、長谷田貢企画課長、小島治士外部委員を除く全員）